

学部・研究科等の現況調査表

研 究

平成22年6月

岐阜大学

目 次

8. 連合創薬医療情報研究科

8-1

8. 連合創薬医療情報研究科

Ⅲ 質の向上度の判断	8 - 2
------------	-------

Ⅲ 質の向上度の判断

①事例1「活発な研究成果発表と受賞・報道」(分析項目Ⅰ、Ⅱ)

査読付学術雑誌での原著論文数は、教員1人あたり年間4.02報と一定の水準を保っている。また、国際会議・国内学会での学会発表も多く行っている。その取組が注目され、各種学会等での受賞及び多数のメディアにおいて報道がなされており、特筆すべき研究成果が輩出された。【別添資料3-1、3-2、3-3、3-4、3-5】

②事例2「着実に外部資金を獲得」(分析項目Ⅰ、Ⅱ)

外部資金の代表である科学研究費補助金をほぼ全教員が獲得しており、製薬会社を中心に多くの受託研究が行われている。【別添資料3-6、3-7、3-8】

別添資料 3-1 原著論文数（平成 19～21 年度）

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
英文誌	52	92	76
和文誌	12	22	11
合計	64	114	87

別添資料 3-2 研究成果発表状況（平成 19 年度～21 年度）

学会発表				総説・解説	著書（分担を含む）
一般講演		招待講演			
国際会議	国内会議	国際会議	国内会議		
87	358	5	87	66	71

別添資料 3-3 受賞（平成 19 年度～21 年度）

受賞年度	名 称	授与機関	受 賞 者	テ ー マ 名
19 年度	第 44 回(2007 年度)エルウィン・フォン・ベルツ賞 1 等賞受賞	エルウィン・フォン・ベルツ賞	鈴木正昭 外	分子イメージング研究による創薬・疾患診断の革新
19 年度	高林健登 学生奨励賞を受賞	東京大学生産技術研究所	高林健登、猪口明博、鷲尾隆、 <u>紀ノ定保臣</u>	臨床プロセス解析を支援する OLAP システムの考察、情報処理学会 DBS 研究会「データベースと Web 情報システムに関するシンポジウム (DBWeb2007)」
19 年度	松島秀 第 66 回日本医学放射線学会 Gold Medal 賞を受賞	第 66 回日本医学放射線学会学術集会	松島秀、西尾福英之、佐々木文雄、山浦秀和、恵良聖一、 <u>紀ノ定保臣</u> 、	Equivqlent Cross-Relaxation Rate を用いた Cellular Axillary Lymph Node Imaging.
19 年度	第 6 回杉田玄白賞奨励賞	杉田玄白賞	桑田一夫	
19 年度	第 17 回 JARMAM(迅速微生物迅速診断研究会)賞	迅速微生物迅速診断研究会	田中香お里、仲尾賢一、三嶋廣繁、渡邊邦友	
20 年度	清水秀年 ベストリサーチアワードを受賞	生体医工学シンポジウム 2008	清水秀年、宮村廣樹、 <u>松島秀</u> 、村上政隆、恵良聖一、内山良一、 <u>紀ノ定保臣</u>	Equivalent Cross-Relaxation Rate Image を用いた唾液腺機能評価
20 年度	白石孝雄 第 18 回アンチセンスシンポジウム優秀発表賞	日本アンチセンス DNA/RNA 研究会	白石孝雄、山下真世、望月将彦、 <u>上野義仁</u> 、 <u>北出幸夫</u>	抗ウイルス性核酸医療の開発を指向したベンゼン骨格を有する 2-5A 誘導体の創製とその RNA 分解活性
20 年度	日本先天代謝異常学会賞	日本先天代謝異常学会	Al-Dirbashi OY, Santa T, Rashed MS, Al-Hassnan Z, <u>Shimozawa N</u> , Chedrawi A, Jacob M, Al-Mokhadab M.	Rapid UPLC-MS/MS method for routine analysis of plasma pristanic, phytanic and very-long chain fatty acid markers of peroxisomal disorders.

20 年度	マジックバレット賞	Paul Ehrlich ノーベル賞 100 周年記念国際会議	桑田一夫	
20 年度	日本放射線技術学会（第 64 回総会学術大会）CyPos 銅賞	日本放射線技術学会	内山良一	
20 年度	金森奨励賞	医用画像情報学会	内山良一	

別添資料 3-4 報道

メディア	報道日	内 容
読売新聞	平成 19 年 5 月 1 日	肝臓がん、肝硬変、色変化で予兆発見、岐阜大研究グループ MRI 新システム開発
朝日新聞	平成 19 年 6 月 27 日	連合創薬医療情報研究科について
岐阜新聞	平成 19 年 7 月 1 日	「選ばれる病院とは」、十六銀行・岐阜大学主催「医療経営シンポジウム」
中日新聞	平成 19 年 9 月 30 日	岐阜大学ー学生支援 GP に選定ー生涯健康を目指した学生健康支援プログラム
朝日新聞	平成 19 年 10 月 4 日	岐阜大学ー学生支援 GP に採択ー大学は生涯健康のスタート地点
朝日新聞	平成 19 年 10 月 31 日	岐阜大学ー生涯健康を目指した学生健康支援プログラムー生涯健康教育の推進と健康支援の充実
常陽新聞	平成 19 年 11 月 26 日	生物毒から薬を探す
理研ニュース 2、No. 320	平成 20 年 2 月 5 日	分子イメージングが診断、創薬に革新をもたらす
岐阜の国保	平成 20 年 5 月	メタボリックシンドロームの予防に向けて学ぶ（1/17）
中日新聞	平成 20 年 11 月 18 日	岐大とサウジ難病克服連携／ペルオキシソーム病治療研究
中日新聞	平成 21 年 1 月 15 日	マラリア新薬に弾み
岐阜新聞	平成 21 年 1 月 17 日	マラリア原虫のタンパク質抽出
毎日新聞	平成 21 年 2 月 1 日	熱帯熱マラリア治療薬開発に期待
中日新聞	平成 21 年 11 月 12 日	RNA 断片でがん抑制
岐阜新聞	平成 21 年 11 月 13 日	RNA 干渉応用、がん抑制
中日新聞	平成 21 年 12 月 20 日	アトピー性皮膚炎教授らが研究発表

別添資料 3-5 特筆すべき研究成果

「難病指定されたペルオキシソーム病の診断、病態解明、治療法開発に関する研究」 国内唯一のペルオキシソーム病診断センターとして、岐阜大学で20年以上に渡り一貫してペルオキシソーム病の診断スクリーニングから確定診断まで行うとともに、その過程で集積した国内外の患者細胞を解析することにより、世界初となるペルオキシソーム形成異常症病因遺伝子の発見を初め、多くの研究成果を挙げてきている。その取組が評価され、平成21年度、本研究科の教員が日本先天代謝異常学会賞を受賞するとともに、2008. 11. 18中日新聞等に掲載された。 RNA 干渉は遺伝子発現の制御をする重要な機構であることが分かってきた。さらに、この制御異常が疾患と関連することが示された。遺伝子発現を特異的に制御できる siRNA、microRNA を医薬として応用することが期待される。しかし、体内に豊富にあるヌクレアーゼから回避できる DDS が問題となる。本研究科では癌共通のがん抑制マイクロ RNA (miR-143、-145、-34a など) を同定し、マウスモデルにおいて化学修飾マイクロ RNA を用いて効果を確認した。また、細胞を介した DDS の開発に取り組み、RNA 創薬をめざしている。本取組が注目され、日本化学学会、日本獣医学会、日本大腸検査学会等から招待講演及びシンポジストの依頼を受け、講演するとともに、2009. 11. 12 中日新聞及び 2009. 11. 13 岐阜新聞に掲載された。

構造生物学的解析（NMR、X線結晶回折、クライオ電顕）、創薬計算（オリジナルソフト「NAGARA」）、有機合成（半自動合成）、生物試験（P3）の4種類の工程を統合した論理的創薬開発体制を構築し、教育研究活動に供している。具体的には、抗プリオン薬開発、抗ガン剤開発、抗AIDS薬開発等を推進しており、多数の論文発表及び特許出願として成果が出ている。また、P53を標的とする抗ガン剤シーズや酵素阻害剤などの創薬シーズを多数発見している。本取組が評価され、本研究科教員がMAGIC-BULLET-AWARD 2008を本邦初受賞した。

別添資料3-6 平成19～21年度の文部科学省科学研究費補助金の獲得状況

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
特定領域研究	4	2	2
基盤研究(A)	1	2	2
基盤研究(B)	1	1	1
基盤研究(C)	7	9	11
萌芽研究	2	1	0
若手研究(B)	0	1	1
合 計	15	16	17

別添資料3-7 平成19～21年度の厚生労働省科学研究費補助金の獲得状況

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
件数	5	6	6

別添資料3-8 平成19～21年度の受託研究の獲得状況

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
件数	15	11	9